

選別的に不当処分攻撃を総力決起せよ！

日新 動労千葉

80.5.7
NO. 421

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八(動力車会館)
電話二二五八・九(公衆電話三三二七二〇七)

不退転の闘争体制を構築せよ！

闘う動労千葉に、権力・当局と「本部」反動分子一体となった「四・一五」を口実とする選別的に不当処分攻撃の組織破壊攻撃が策動されている。この不当処分攻撃を粉碎する唯一の道は、職場・生産点からの闘いの爆発である。職場・生産点に責任を持つ労働者・労働組合への不当な弾圧が、いかなる事態を生ずるのかを、権力・当局とその武装親衛隊にして尖兵たる「本部」反動分子どもに今こそ思い知らせてやるうではないか。第七回支部代表者会議は、この不当処分攻撃の本質と闘いへの決意と方向性をはっきりと確認し、すでに各職場で反撃の闘いは開始されている。第一に、不当処分粉碎。第二に、「津田沼特別班」解体。第三に、佐倉支部分裂策動粉碎へ、全ての怒りをとき放ち、動労千葉へのあらゆる組織破壊攻撃を断固うち砕く決意をもって総決起せよ！

激動の80年代を真に闘い抜く労働運動への弾圧

今日、世界情勢は戦争への危機を加速度的に深めている。イラン、アフガニスタン、インドシナ、南朝鮮の激動は戦後の米・ソ二大国支配の終焉をはっきりと示し、アメリカのイラン侵略・人質「奪還」作戦の失敗、ソ連のアフガニスタン侵略の泥沼化は、二大国をしてさらに戦争への衝動を強めるものとなっている。

日本帝国主義・大平はアメリカに対し「軍事力強化」を「約束」し、「挙国一致」「徴兵制」「兵器輸出」をますます露骨に打ち出し、右翼的労働運動の潮流は企業防衛主義の立場から、これに積極的に協力する姿勢を示している。

動労千葉の「反合・三里塚」の方針こそが、この戦争への道一軍事大国化を阻止し激動の80年代を闘い抜く真の労働運動の方向性を示すものであり、反動分子の「冬の時代」論をもってする「水本謀略」「貨物安定宣言」路線こそは、現下の日本労働運動の最も右翼的・ファッショ的方向性を示すものである。

「四・一五」の事態は、「本部」反動分子が、いまや、路線的にも運動的にも、完全に権力・当局の手先・尖兵になり下がっていることを示している。

職場・生産点からの反撃を！

①三里塚を闘う労働運動、②三十五万人体制合理化と真に対決する労働運動、③動労大改革一戦闘的労働運動の再生、をスローガンに、ストなし春闘を打ち破った動労千葉の一〇・二二〜一一・一ストをはじめとする七九秋年一八〇春闘の闘い

の高揚が、権力・当局をして、「本部」反動分子の暴力によるスト破りと哀願路線をテコとした反動的、選別的に不当処分攻撃を策動させるならば、われわれは、六月・乗務員運用合理化阻止！「五五・一〇」粉碎！三十五万人体制粉碎、「五六・三」ジェット燃料貨車輸送延長阻止、を組織の存亡をかけて闘い抜くのみである。

全支部で、全職場で、徹底的な討論をまき起せ！オルグと職場集会をもって闘う体制をうち固めよう！

全支部から、全職場から、

五・一七、結成一周年集会と五・二五三里塚現地集会へ圧倒的結集をかちとれ！動労千葉の憤激と闘い決意を権力・当局と「本部」反動分子にたたきつけよ！

全支部に、全職場に、

明日からでも、否、いまずぐに強力な非協力闘争に決起できる体制を構築せよ！ストライキも辞さぬ、泥沼化も辞さぬ不退転の決意で選別的に不当処分攻撃を粉碎しよう！

5・17 動労千葉結成一周年記念講演集会

・十三時〜十五時

・県労働者福祉センター大ホール

講演 浅田光輝氏

レセプション・十五時〜十七時

5・25 三里塚現地集会に
総結集しよう！